

ニュー スキン ジャパン 株式会社
岩手・宮城・福島の子童養護施設の子どもたちへ
クリスマス ギフトをプレゼント
～女子プロゴルファー 永井 花奈 選手と一緒にギフトをラッピング～



ニュー スキン ジャパン 株式会社（本社所在地：東京都新宿区、代表取締役社長：小林 和則）は、「Children's Brighter Future(チルドレンズ ブライター フューチャー) ～子どもたちの明るい未来を創る～」プロジェクトの一環として、12月16日（土）に「クリスマス ギフト プラン」を行いました。

「クリスマス ギフト プラン」は、日頃より食糧を届けている都内の児童養護施設の1つを訪れ、子どもたちと一緒にクリスマス ギフトを作成するもので、今年で6回目となります。

当日は、児童養護施設の子供たちと一緒に、今回2回目の参加となる女子プロゴルファーの永井 花奈 選手をはじめ、チームエリート*1、社員の総勢 25 名が協力しながら、クリスマス ブーツにお菓子や文房具を入れた730セットのギフトをつくりました。ギフトの完成後には全員でクリスマス ケーキを食べ、永井選手と子どもたちがパターゲームで交流するなど、楽しい時間を過ごしました。

ギフトづくりに参加した子どもたちからは「みんなで一緒にクリスマス ブーツにお菓子や文房具を詰めることができ楽しかった。たくさんあったけど、東北のみんなの役に立つと思うと嬉しかった」との感想をもらい笑顔をお届けすることができました。

また、永井選手は「昨年に続き2回目の児童養護施設への訪問でしたが、子どもたちと一緒に過ごす時間はとても楽しいです。パターゲームと一緒に遊ぶこともでき、子どもたちにも楽しんでもらえたので、こうした活動を今後も続けて行きたいです」と話していました。

このクリスマス ギフトは、NPO 法人セカンドハーベスト・ジャパンを通じて岩手県・宮城県・福島県にある15の児童養護施設と、被災地の保育園の子どもたち合計730名に贈られます。

ニュー スキン ジャパンは、これからも子どもたちの笑顔のためにボランティア活動を実施してまいります。

ニュー スキンでは「人々がより豊かになるための力となる」というミッションに基づき、次の世代を担う子どもたちにとって、住み良い世界を創るための活動に取り組んでいます。会員と社員からの寄付で成り立つ「ニュー スキン ジャパン Force for Good 基金」には累計で7億円を超える寄付が寄せられ、児童養護施設や東日本大震災 被災地、アフリカ マラウイ共和国での継続的な支援に役立てています。2016年からは、ニュー スキン ジャパンのすべての製品の売上利益1%を子どもたちの笑顔をつくる活動に役立てる「One for Smiles」をスタートしました。

*1チームエリート：ニュー スキン と契約した個人で、ビジネスにおけるトップの称号

子どもたちへ贈るクリスマス ギフトの詰め合わせ作業風景

内容：5種類のお菓子、ペンケースと鉛筆を詰め合わせていく作業。



永井選手とパターゲームをする子どもたち



クリスマス ギフトを東北の施設へ届けました